



ソフトバンク株式会社

代表取締役 社長執行役員 兼 CEO

みやかわ じゅんいち

宮川 潤一

AIとの共存社会の実現に向けて



AIの社会実装推進
(エネルギー需要拡大)

地球温暖化対策
(再生エネルギー創出・CO2削減)

地球温暖化による被害が拡大

猛暑

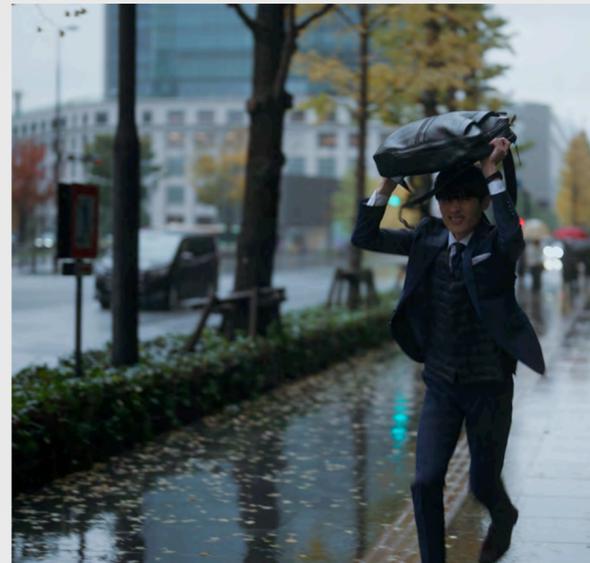


猛暑日数(年間)

2.6倍

(2000年時点比)

ゲリラ豪雨



発生回数(年間)

1.3倍

(2000年時点比)

土砂災害



発生回数(年間)

1.5倍

(2000年時点比)

台風被害



東日本台風被害額(令和元年)

1.9兆円

(過去最大)

山林火災



大船渡市延焼面積(令和7年)

3,370ha

(過去最大)

＝ SoftBank

新たな森林保全の取り組み

日本森林再生
応援プロジェクト
(企業版ふるさと納税)

47道府県市

消費者参加型
植樹貢献プログラム
(NatureBank)

3億ユーザー

SoftBank

新たな森林保全の取り組み

日本森林再生
応援プロジェクト
(企業版ふるさと納税)

47道府県市

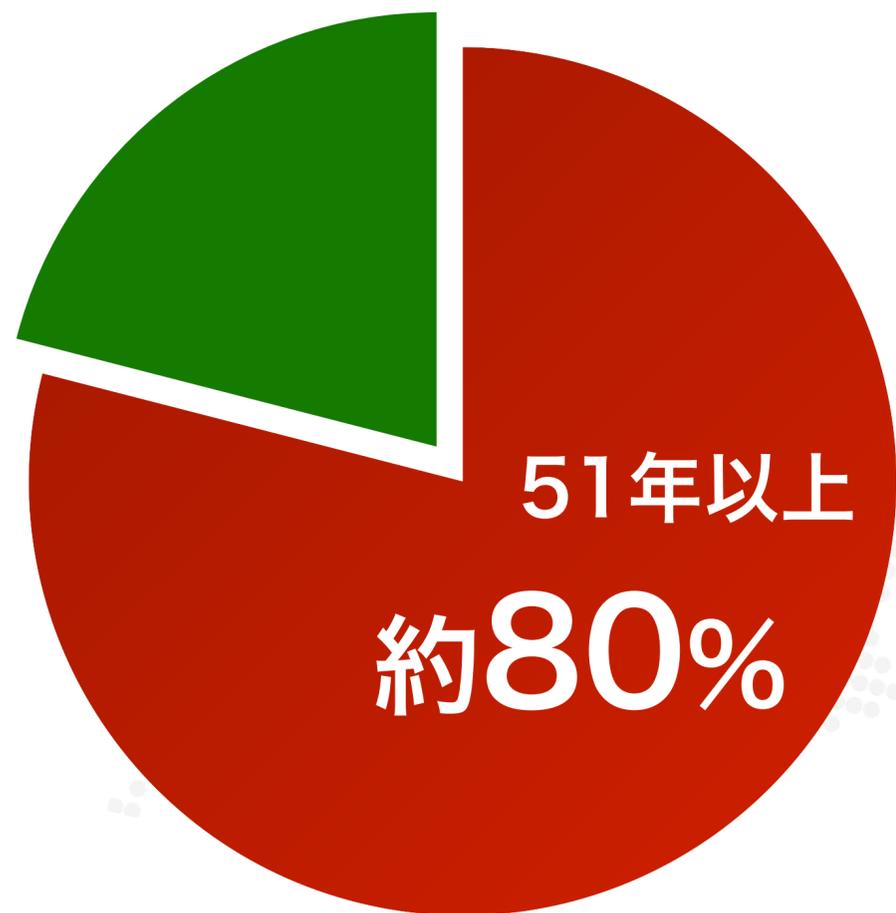
消費者参加型
植樹貢献プログラム
(NatureBank)

3億ユーザー

日本における森林の現状

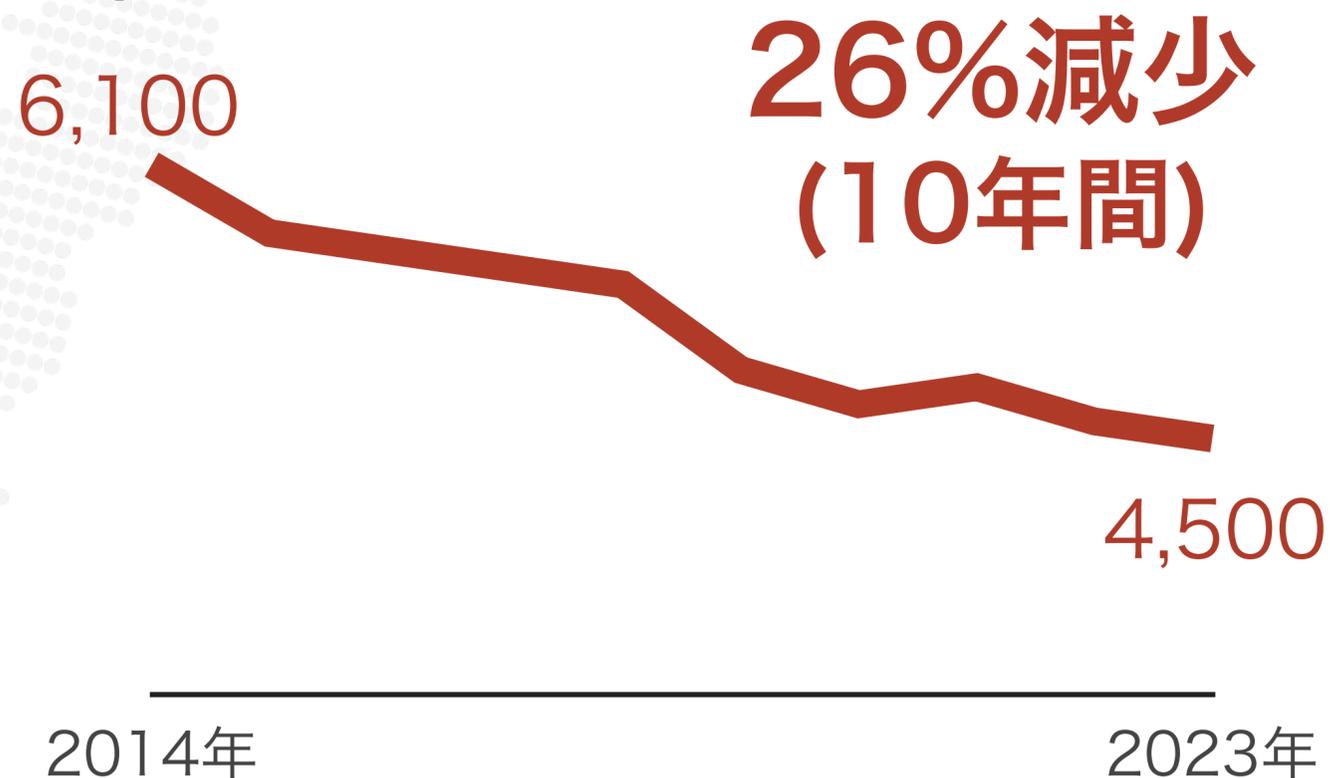
樹木の高齢化

樹齢構成



CO₂吸収量の減少

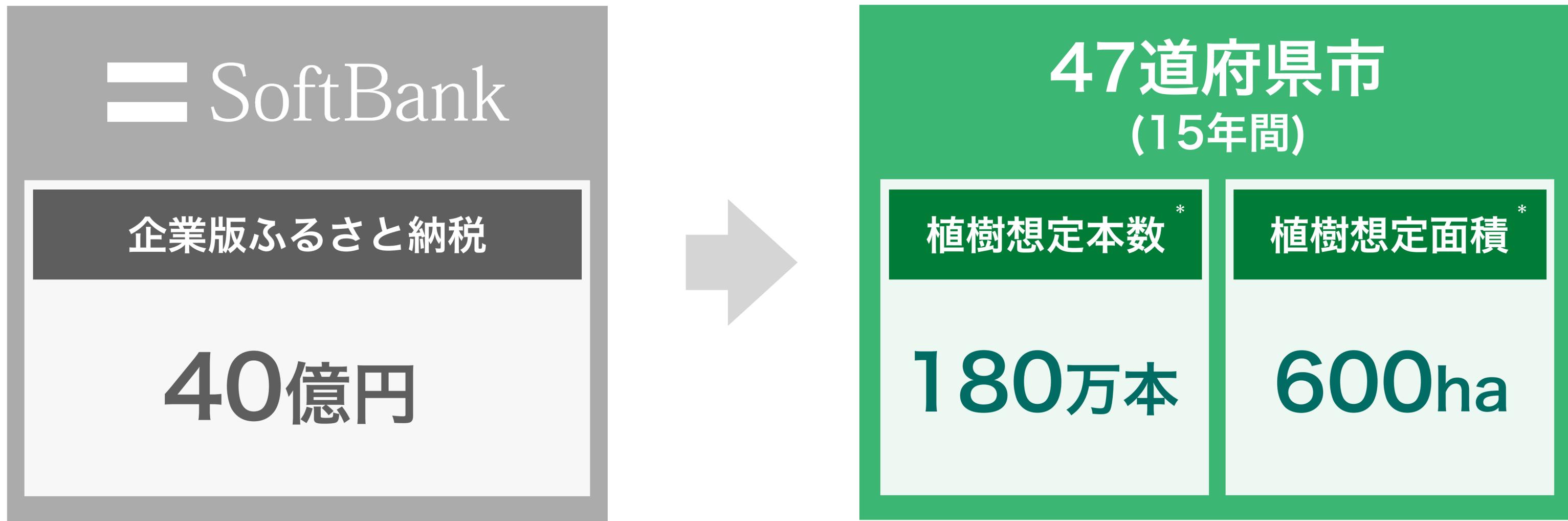
樹木によるCO₂吸収量
[万トン]



樹木の高齢化が進行し、CO₂吸収量が大きく減少

取り組みの目的

企業版ふるさと納税を活用し、
植樹による持続的な森林保全活動に貢献



*当社が実施した40億円の企業版ふるさと納税を全て新規造林に充てた場合の最大値を当社で算出
植樹想定本数：林野庁 森林整備部 令和元年度 「スギ・ヒノキ・カラマツにおける低密度植栽のための技術指針(案)」より当社推計、植樹想定面積：林野庁 各種報道資料より当社推計

SoftBank

新たな森林保全の取り組み

日本森林再生
応援プロジェクト
(企業版ふるさと納税)

47道府県市

消費者参加型
植樹貢献プログラム
(NatureBank)

3億ユーザー

国民の温暖化への向き合い方

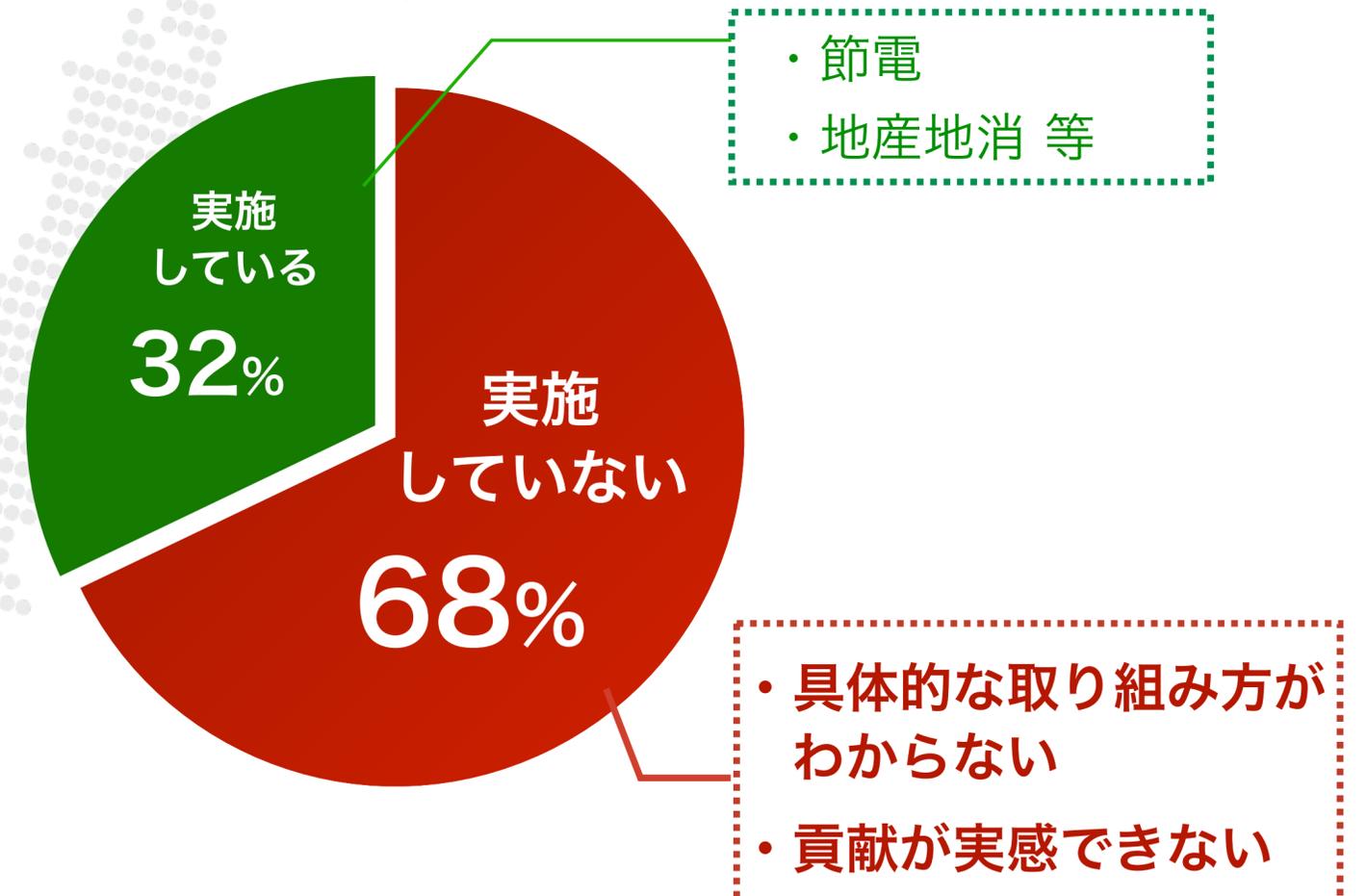
不安意識

[環境危機時計]

2024年



温暖化対策への取り組み



意識と行動のミスマッチが顕在化

NatureBank

アプリやサービスを使うだけ。ソフトバンクの森づくりの仕組み。

対象

3億ユーザー

対象エコサービス

16サービス

期間

5年間

2025年7月30日 本日開始

本プログラムの概要

エコサービスを利用
(ユーザー)



CO2抑制に貢献する
エコサービスの利用を促進

植樹を支援
(ソフトバンク)



ユーザーが抑制した
CO2相当分の植樹を支援

成果・効果を発信
(ソフトバンク)



公式ホームページ／LINE等で発信

対象エコサービス(16サービス)

利用する



LOHACO
by ASKUL

移動する



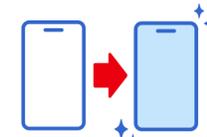
YAHOO!
JAPAN



YAHOO!
JAPAN



再利用する



下取りプログラム



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。



YAHOO!
JAPAN



YAHOO!
JAPAN

ZOZOUSED

知る



NatureBank

アプリやサービスを使うだけ。ソフトバンクの森づくりの仕組み。

エコサービスの利用 (PayPayの場合)

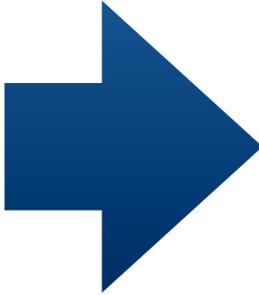
現金取引

森林伐採・採掘

製造 (紙幣・硬貨)

配送

ATM運用



スマートフォン決済

PayPay

こちらのバーコードを読み込んでください

CO₂削減効果 : 70% (8g-CO₂/回)

CO₂削減効果：株式会社JCB「日本における現金およびキャッシュレス決済に関するCO₂排出量（カーボンインパクト）の調査結果」および一般社団法人キャッシュレス推進協議会「コード決済利用動向調査（2024年3月25日公表）」より当社推計

エコサービスの利用 (ZOZOUSEDの場合)

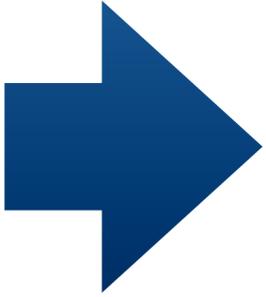
新品購入

原材料採取

製造

配送

廃棄



中古品購入

CO₂削減効果 : 50% (1,170g-CO₂/回)

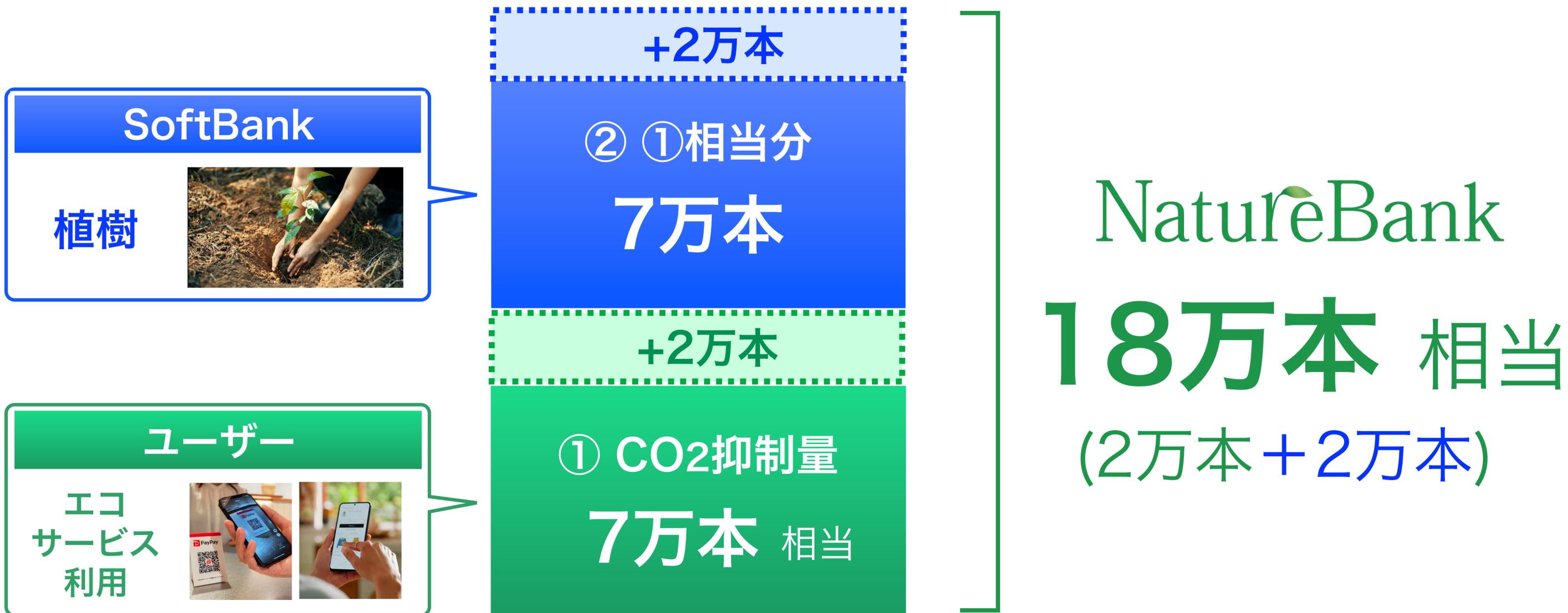
CO₂削減効果：環境省および海外公表データ等を元にZOZOUSEDと新品購入(店舗購入)のCO₂排出量を当社にて推計し比較例を作成

NatureBankによるCO₂削減効果例(年間)



CO₂抑制量：環境省「日本国温室効果ガスインベントリ報告書（2017年）」をもとに試算した、樹木1本あたりのCO₂吸収量を基準に、各エコサービスの利用によるCO₂抑制量を樹木本数に換算
7万本分相当：各エコサービスの過去実績(FY24)に基づき、現時点の利用状況に応じたCO₂抑制量を当社にて試算

エコサービスの利用に応じて CO₂削減効果が拡大



CO₂抑制量：環境省「日本国温室効果ガスインベントリ報告書（2017年）」をもとに試算した、樹木1本あたりのCO₂吸収量を基準に、各エコサービスの利用によるCO₂抑制量を樹木本数に換算
7万本分相当：各エコサービスの過去実績(FY24)に基づき、現時点の利用状況に応じたCO₂抑制量を当社にて試算。 +2万本：一例であり、今後のサービス利用状況に応じて変動

植樹本数

日本森林再生
応援プロジェクト
(企業版ふるさと納税)

47道府県市

+

消費者参加型
植樹貢献プログラム
(NatureBank)

3億ユーザー

180万本
(15年間)

35万本 + α
(5年間)

取り組みの効果



森林保全面積

0.003%

日本森林再生
応援プロジェクト

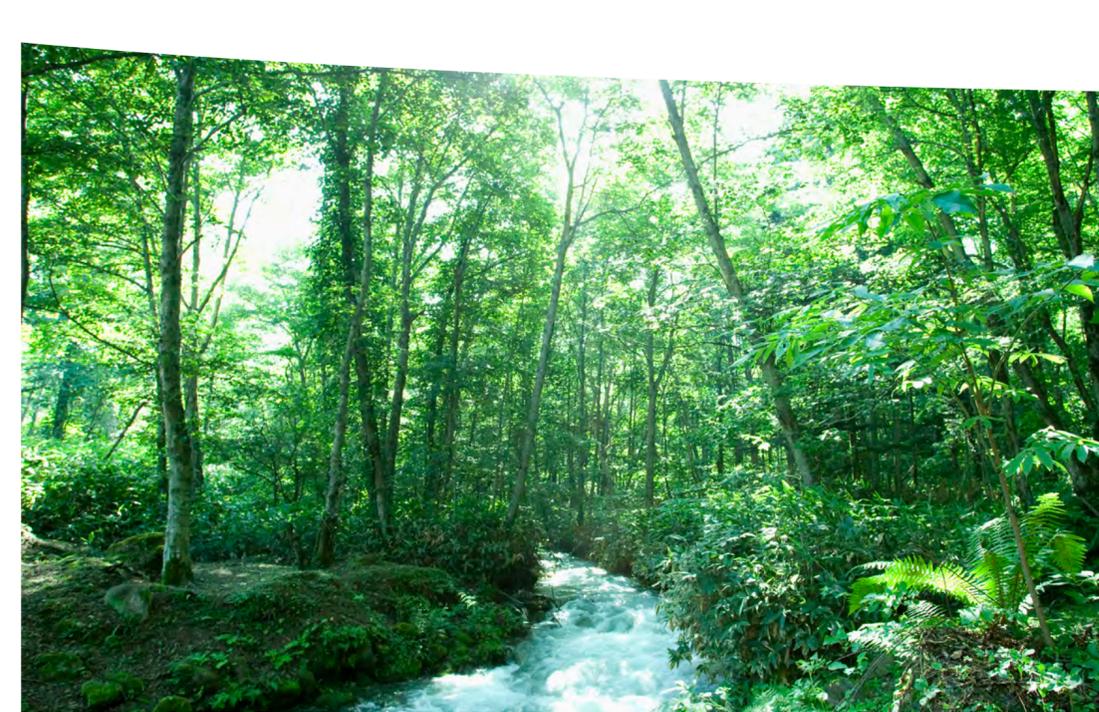
NatureBank

目指す姿

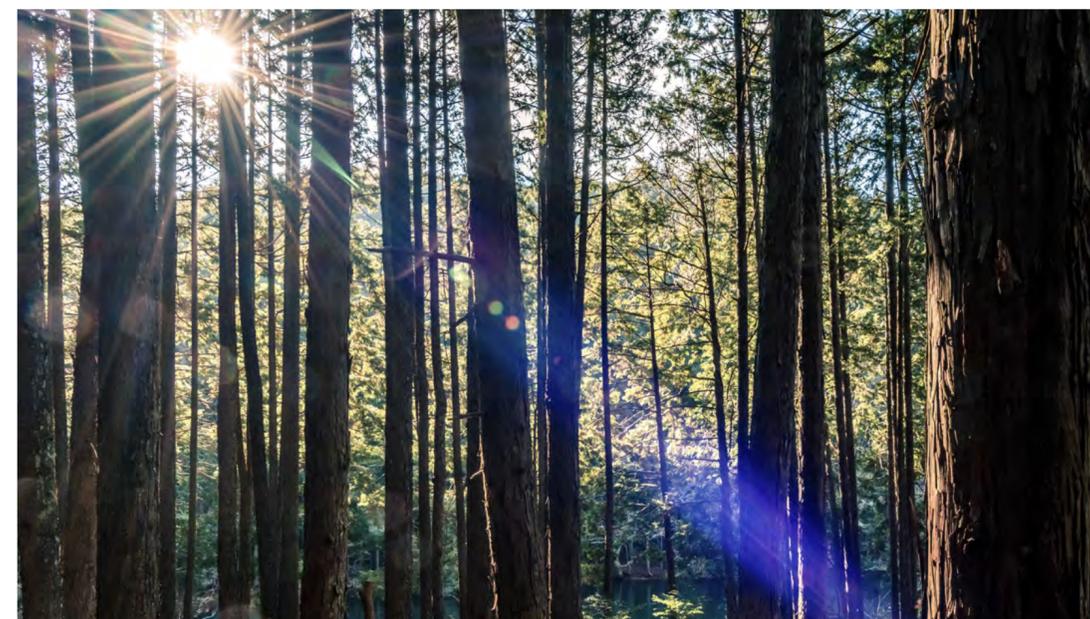


企業・自治体と連携し
森林保全の
さらなる拡大へ





日本の森林と未来を守るために





SoftBank